

吉田草紙庵 よしだくさしあな 小唄作曲家、俳人。明治八年八月八日東京日本橋浪花町生れ、昭和二十一年十一月五日没（八七五—一九四六）。本名金太郎。藝名清元菊之輔。少時長唄を習ひ、初代清元菊輔に入門。のち左官職の家業を嗣ぎ、傍ら小唄の作曲に専心。また多くの小唄家元を取とて、小唄中興の祖といふ。別號土沐、黙笑。

著書に『小唄作曲の流（一）』（井口政治編、昭和十一年七月十日法木書店）『都の華』別冊）、『小唄名曲大全・第壹編』（井口政治編、昭和十四年十一月十日法木書店）等。喜ぶ良博に著『草紙庵節の思ひ出』（昭和二十五年八月一日喜好会・喜音会）がある。

